

2022年6月20日
東海旅客鉄道株式会社
電源開発株式会社

武豊線電車運行の二酸化炭素排出量実質ゼロ化について

東海旅客鉄道株式会社（本社：愛知県名古屋市、代表取締役社長：金子慎、以下「JR東海」）と電源開発株式会社（本社：東京都中央区、代表取締役社長 社長執行役員：渡部肇史、以下「Jパワー」）は、これまで二酸化炭素（以下「CO₂」）排出量削減に向けた協力について検討を重ねてきました。

このたび、JR東海が運営し、名古屋都市圏の通勤・通学輸送等を担っている武豊線（愛知県：大府駅～武豊駅間19.3km）の電車を、CO₂排出量実質ゼロで運行することに決定しましたので、お知らせします。

JR東海とJパワーは、今後も地球環境保全を通じた持続可能な社会の実現に向け、連携して検討を深めてまいります。

1. 地球環境負荷の低減

武豊線の電車運行に使用する電力量相当分の「FIT非化石証書※」をJパワーから購入して使用することにより、同線の電車を実質的に再生可能エネルギー（以下「再エネ」）由来の電力100%で運行し、CO₂排出量実質ゼロを達成します。

※「FIT非化石証書」は、FIT制度（再エネの固定価格買取制度）により買い取られた再エネ電力が持つ「非化石価値」を証書化したもの。

2. 本取組みによる効果

武豊線の電車運行に使用する年間電力量である約200万kWhに相当するFIT非化石証書を使用することによって、実質的に再エネ由来電力100%で運行することとなり、年間約760tのCO₂排出量が実質ゼロとなります。

3. 再エネ由来電力の使用開始予定

2022年7月1日以降

<参考>

【武豊線】



■ 路線距離

大府駅 ~ 武豊駅間 19.3 km

【Jパワーの取組み】

Jパワーは人々の求めるエネルギーを不断に提供し、日本と世界の持続可能な発展に貢献することをミッションとし、これまで水力、火力、風力、地熱による発電および送変電事業に国内外で取り組んできました。

このミッションの達成のために、2021年2月にJ-POWER“BLUE MISSION 2050”を発表し、2050年に向けて発電事業のカーボンニュートラルの実現に挑んでいきます。

そのため、CO₂フリー電源の開発加速化、既存火力発電所のアップサイクルや、CO₂フリー水素の発電・製造・供給に向けた取組み等を推進し、2025年度のCO₂排出量を700万t削減※、2030年40%削減※、2050年実質ゼロとする目標を掲げています。

Jパワーは再エネのトップランナー企業として環境価値の提供にも取り組んでおり、本取組みへの協力はその一環となります。

※Jパワー国内発電事業CO₂排出量（2017 - 2019年度3カ年平均実績比）